

令和 8 年度入学試験
筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群
パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

令和 7 年 8 月

専門英語

出題意図

問題 1

公衆衛生学に関連する英文の文脈に基づく語句の理解と論点の読解力、ならびに問いに対する論理的な記述力を測ることを目的に出題した。

問題 2

本問では、ヤングケアラーにおける心身の健康に影響を及ぼす心理社会的要因に関する英語文献を用いて、公衆衛生学の学修に求められる基本的な英語読解力を測定した。具体的には、文脈に基づいて適切な語句を選択したり、問われた内容を的確に要約したりすることを通じて、正確に読解できているか評価した。

令和 8 年度入学試験
筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群
パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

令和 7 年 8 月

専門科目

出題意図

問題 1

パブリックヘルス学位プログラムでは、多様な背景や属性等の人々に関わるさまざまな課題を研究領域として取り扱っている。そのなかでは、ジェンダーや障害、国籍等を含めた「マイノリティ」に関わる課題を取り扱うことが必須であり、その基礎的な知識や、課題解決に向けた実践での計画立案等の能力を有することが求められる。したがって、問題 1 では、第一に組織（学校や職場等）でマイノリティの包摂（インクルージョン）を推進する施策として取り組まれること多い「ポジティブ・アクション」や「アファーマティブ・アクション」を巡る課題について基本的な理解を問うために、近年の「バックラッシュ」とも呼べる状況を踏まえ、取り組みへの批判や抵抗について、その背景や理由について詳述することを求めた。第二に、それらの課題解決に向けた具体的な知見を得るためには何が必要と考えるかを問うために、研究計画の立案について詳述を求めた。

問題 2

1. 児童期の特徴について説明ができるかを問う問題で発達臨床心理学に関する基礎的な理解の習得度を評価した。
2. 児童期の特徴を踏まえた介入プログラムおよび効果検証の研究計画を立案できるかを問う問題で、発達臨床心理学に関する研究デザインや研究手法など研究遂行に必要な知識が身についているかを評価した。

問題 3

健康日本 21（第三次）で掲げられている、糖尿病の目標に関する知識を問うた。
糖尿病を患う対象に対する具体的な研究計画を説明できる力を問うた。

問題 4

1. 社会精神保健学が扱う主要な問題（PTSD、ゲーム依存症）の支援を学校で行う場面に
ついてとりあげ、そこでの対応方法を答えさせることで、その精神健康問題の基本的な概

念の知識の有無を確かめるとともに、精神保健的な援助の手法や枠組みへの理解について評価することを意図して出題した。

2. 精神保健学分野における重大な問題である「精神障害に対するスティグマ」に関して研究計画を立てさせることで、研究課題をみつけ、それを実証的に研究する方法を検討する力の程度を評価することを意図した。特に、研究に取り組むリサーチマインドや、実証的な研究方法を計画できるロジカルな思考に関する評価を重視した。

問題 5

本問題は、公衆衛生学における研究領域の一つである学校保健の分野から、現行の教育課程のもとで進められている保健教育の基本的な考え方等の知識を問うものである。今日の社会的状況や教育的課題、子供たちの健康課題を踏まえつつ、学校における健康教育に求められている学習の内容や方法、育成すべき資質・能力を述べることができるかに重点を置いたものである。

問題 6

問1 疫学データを提示し、公衆衛生学の基礎知識・思考力を問うた。

問2 計算力・思考力を問うた。

問3 ハイリスク・ポピュレーション両戦略について理解しているかを問い、さらに予防的介入を論理的に提案する能力を問うた。

問題 7

地域保健介入を題材として、観察研究における研究デザインの限界やバイアスを理解しているかを確認するとともに、因果効果をより妥当に推定するための研究デザインや解析手法を提案できるかの能力を評価した。

問題 8

保健医療政策学の基礎知識として人口学についての理解を問い、さらに、人口の高齢化と保健医療の関係についての理解を問う問題である。

問題 9

本課題は、国の最新の身体活動指針「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」について、目的・位置づけ・主要メッセージを正確に理解し、要点を整理して説明できる力を評価する。加えて、「+10 (プラス・テン)」の考え方をを用い、成人・高齢者それぞれの特性に応じた具体的支援策を、実現可能性や安全性、生活環境・社会的要因を踏まえて論理的に提案できるかを測る。知識の再生にとどまらず、行動変容支援と環境整備を組み合わせた構成力、支援策の具体性と妥当性、政策・実務への応用力を総合的に評価する。

令和 8 年度入学試験
筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群
パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

令和 8 年 1 月

専門英語

出題意図

問題 1

生活習慣病予防対策に関する英語文献を用いて、文脈にあった単語の選択（穴埋め問題）および内容該当部分の要約（記述問題）にて、英文を正しく読解できているか（英語の読解力）を問う。

問題 2

専門英語では、公衆衛生学の学修や専門的情報の理解に求められる基本的な英語読解力を測定する。本問では、フレイルに関する英文を読み、文脈に基づいて語句の意味や、本文中で紹介されている発言内容や論点について、正確に読解できているか評価することを目的として出題した。

令和 8 年度入学試験
筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群
パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

令和 8 年 1 月

専門科目

出題意図

問題 1

パブリックヘルス学位プログラムでは、多様な背景や属性等の人々に関わるさまざまな課題を研究領域として取り扱っている。そのなかでは、ジェンダーや障害、国籍等を含めた「マイノリティ」に関わる課題を取り扱うことが必須であり、その基礎的な知識や、課題解決に向けた実践での計画立案等の能力を有することが求められる。したがって、問題 1 では近年あらためて注目されている「マイノリティ」に対する「マジョリティ」について、学術的な観点からの基本的な理解を問うために詳述することを求めた。

問題 2

本問では、発達臨床心理学及び臨床心理学領域において用いられる研究手法に関する理解や、それに基づく研究計画立案能力を評価した。

問題 3

わが国の認知症施策の変遷に関する知識を問うた。認知症のある人を対象とする研究計画を立てる際に、注意を要する点について説明できる力を問うた。

問題 4

本設問は、依存症の本質を単なる意志の弱さではなく、生物・心理・社会的要因から多面的に理解できているか評価する。特に、「精神依存」「身体依存」「自己治療仮説」といった依存症の主要概念を適切に理解し、それぞれの機序を統合的に説明する力を確認する。また、臨床現場を想定し、認知行動療法の効果を検証する研究計画を具体的に構想させ、適切なアウトカムを設定したうえで、実証的な検討の計画立案に必要な基礎的思考力を確認することを意図している。

問題 5

本問は、近年、産業衛生の分野で特に重視されているワーク・エンゲイジメントについ

て、その理論的背景と関連概念を正しく理解しているかを評価することを目的として出題した。まず、ワーク・エンゲイジメントの概念について、3つの構成要素に触れながら説明できるかを確認するとともに、類似概念との違いを適切に整理して理解しているかを評価した。さらに、仕事の要求度—資源モデルの理論的枠組みを理解したうえで、その知見を職場の実践的な施策へと結びつけて考える力を評価した。

問題 6

問1 公衆衛生学における今日的課題を提示し、公衆衛生学の基礎知識・思考力を問うた。

問2 公衆衛生学における今日的課題を解決するために専門家が果たすべき役割について、論理的に提案する能力を問うた。

問題 7

本問は、ヘルスサービスリサーチにおける基本的な枠組みおよび研究方法論の理解を確認することを目的とした設問である。具体的には、(1) 医療の質評価の代表的な概念枠組みである Donabedian モデル (構造 (structure)、過程 (process)、結果 (outcome)) を理解し、提示された研究における曝露および結果を適切に位置づけることができるか、(2) 観察研究における交絡の概念を理解し、研究の文脈に基づいて妥当な交絡因子を提示できるか、(3) 生態学的研究 (エコロジカルスタディ) の特徴を理解し、その結果を解釈する際の限界 (生態学的誤謬 (エコロジカル・ファラシー) など) を説明できるか、といった能力を評価することを目的としている。

問題 8

保健医療政策学の基礎知識として健康課税についての理解を問い、さらに、医療経済学の基礎知識として価格弾力性の理解を問う問題である。

問題 9

本課題は、フレイルを身体的、精神・心理的、社会的という多面的概念として理解するとともに、各側面で生じうる具体的な問題を整理し、説明できる力を評価する。さらに、3つの側面の予防・改善を同時に目指す健康増進プログラムを、対象者像に即して具体的に設計し、内容を選択した理由とともに示せるかを問う。実装可能性、継続性を高める工夫、安全配慮、評価指標などを含めた構成員・応用力を総合的に判断する。

公開用

令和 8 年度入学試験

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群

パブリックヘルス学位プログラム（3 年制博士課程）

ENTRANCE EXAMINATION FOR APRIL 2026 ADMISSION

UNIVERSITY OF TSUKUBA

GRADUATE SCHOOL OF COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DEGREE PROGRAMS IN COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DOCTORAL PROGRAM IN PUBLIC HEALTH

令和 7 年 8 月

AUGUST 2025

専門英語

ENGLISH

注 この問題冊子は全部で 7 ページで、問題は 2 問（1、2）ある。

各問題用の解答用紙を使用して解答しなさい。

Note: This booklet has seven pages with two questions (1 and 2). Please answer BOTH questions on each appropriate answer sheet.

問題 1. 以下の文章を読んで問いに日本語もしくは英語で答えなさい。

Question 1. Read the following passage and answer the questions below in English or Japanese.

**著作権により引用部分 (673 words) は非公開
The quoted part is not disclosed due to copyright.**

(Cited with modification: Tangcharoensathien V et al. (2025) Harnessing digital health to achieve equitable and efficient health systems. *Bull World Health Organ*, 103, 82–82A.)

問 Questions

1. 下線部(1)と同じ意味の文章を選びなさい。

Choose the sentence that means the same as underlined (1).

- ① Health determinants are dynamic.
- ② Health determinants are strategic.
- ③ Health determinants are traditional.
- ④ Health determinants are unchanging.

2. 下線部(2)の同義語を選びなさい。

Choose the synonym for underlined (2).

- ① uncontrolled
- ② uncommon
- ③ underway
- ④ unequal

3. 下線部(3)について、本文に基づき具体的に説明しなさい。

Referring to the passage, explain underlined (3) in detail.

4. デジタルヘルス・イノベーションの成果の事例を2つ本文に基づき説明しなさい。

Referring to the passage, explain two examples of digital health innovations.

問題 2. 以下の文章を読んで問いに日本語もしくは英語で答えなさい。

Question 2. Read the following passage and answer the questions below in English or Japanese.

著作権により引用部分 (495 words) は非公開
The quoted part is not disclosed due to copyright.

(Cited with modification: Bowman Grangel A et al. (2025) Health outcomes and psychosocial determinants in young carers: a systematic review. *Lancet Public Health*, 10(7), e625–39.)

問 Questions

1. 本文中の(a), (b), (c)に入る語として最も適切なものを、それぞれ一つ選びなさい。

Choose the most appropriate word or phrase for blanks (a), (b), and (c) in the passage from the following:

(a)

- ① differently
- ② equally
- ③ occasionally
- ④ rarely

(b)

- ① across different demographic groups
- ② among adults
- ③ in specific environmental contexts
- ④ over time

(c)

- ① academic
- ② cognitive
- ③ physical
- ④ psychosocial

2. なぜ young carers の健康について研究を行う必要があるのかを、本文の記述に基づいて説明しなさい。

Referring to the passage, explain the necessity of conducting research on the health of young carers.

公開用

令和 8 年度入学試験

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群

パブリックヘルス学位プログラム（3 年制博士課程）

ENTRANCE EXAMINATION FOR APRIL 2026 ADMISSION

UNIVERSITY OF TSUKUBA

GRADUATE SCHOOL OF COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DEGREE PROGRAMS IN COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DOCTORAL PROGRAM IN PUBLIC HEALTH

令和 7 年 8 月

AUGUST 2025

専門科目

SPECIALIZED SUBJECTS

注 この問題冊子は全部で 10 ページで、問題は 9 問 (1～9) ある。
そのうち **2 問を選び**、各問題用の解答用紙を使用して解答し
なさい。

Note: This booklet has ten pages with nine questions (1 to 9). Of the nine, **SELECT TWO QUESTIONS** and answer on each appropriate answer sheet in Japanese or English.

問題 1.

Question 1.

学校や職場等でインクルージョンを推進する方法論のひとつとして、「ポジティブ・アクション」や「アファーマティブ・アクション」といった取り組みが挙げられる。一方、これらの取り組みに対する批判や抵抗は根強く、近年ではバックラッシュとも呼べる状況が生まれている。

One of the approaches to promoting inclusion in schools, workplaces, and other organizations is the implementation of initiatives such as “positive action” and “affirmative action.” However, these initiatives have consistently faced criticism and resistance, and in recent years, there has been a growing backlash against them.

1. なぜ「ポジティブ・アクション」や「アファーマティブ・アクション」といった取り組みへの批判や抵抗、バックラッシュが生まれているのか、その背景や理由について記述しなさい。

Describe the background or reasons why initiatives such as “positive action” and “affirmative action” have been subject to criticism, resistance, and backlash.

2. 1 を踏まえ、取り組みへの批判や抵抗、バックラッシュの解決に役立つ知見を得るための研究計画を立案しなさい。研究計画の中には、研究の目的、対象、方法、期待される成果を含めること。

On the basis of 1, design and describe a research plan to obtain findings that could be useful to address the criticism, resistance, and backlash toward these initiatives. The research plan should include the purpose, target, methods, and expected results of the study.

出題：共生教育学分野 (Education for Human Coexistence)

問題 2.

Question 2.

1. 児童を対象に心理教育プログラムを実施する際に、気を付けるべきポイントを、発達段階の観点から述べなさい。

Describe the points to be considered when conducting psychoeducational programs for elementary school students from the viewpoint of their developmental stages.

2. 児童を対象とした心理教育プログラムを開発し、その介入効果を検証するための研究計画を立案しなさい。研究計画の中には、研究の目的、対象、方法、期待される成果を含めること。

Develop a psychoeducational program for elementary school students and design a research plan to test the effectiveness of the intervention. The research plan should include the purpose, target, methods, and expected results of the study.

出題：発達臨床心理学分野 (Developmental Clinical Psychology)

問題 3.

Question 3.

1. 健康日本 21（第三次）の糖尿病に関して掲げられている 7 つの目標のうち 4 つを列挙しなさい。

List four of the seven diabetes-related targets in Health Japan 21 (the third term).

2. 糖尿病を抱えながら生きる対象に関する介入研究を計画して、その研究計画の概要を記しなさい。研究計画の中には、研究の目的、対象、方法、期待される成果を含めること。

Plan an intervention study on study participants living with diabetes and summarize the research plan. The research plan should include the purpose, target, methods, and expected results of the study.

出題：高齢者ケアリング学分野 (Gerontological Nursing & Caring)

問題 4.

Question 4.

1. あなたは、中学校でスクールカウンセラーとして働いている。あなたは、以下のような相談を受けた。2つの相談のうち1つを選択して、それに対してあなたは、どのような対応を行うかについて書きなさい。

You work as a school counselor at a junior high school. You have received the following consultations. Choose one of the two consultations and explain how you would respond.

相談 1：大きな地震があった翌日に、1人の生徒が、地震の後に不安が強くなり、眠れなくなったと訴えてきた。あなたはその事例の評価や対応についてどのようにするか。

Consultation 1: The day after a major earthquake, a student reported feeling anxious and unable to sleep after the earthquake. How would you evaluate and respond to this case?

相談 2：あなたは中学校の校長から、ゲーム行動症（ゲーム依存症）について生徒に向けた心理教育を行うように頼まれた。どのような心理教育を行うか。

Consultation 2: You have been asked by the principal of a junior high school to provide psychological education to students about gaming disorder (game addiction). What kind of psychological education will you provide?

2. 精神障害に対するスティグマの実態調査または介入研究を計画して、その研究計画の概要を記しなさい。研究計画の中には、研究の目的、対象、方法、期待される成果を含めること。研究計画は1つだけにしなさい。

Plan a survey or intervention study on the stigma associated with mental disorders and summarize the research plan. The research plan should include the purpose, target, methods, and expected results of the study. Submit only one research plan.

出題：社会精神保健学分野 (Social Psychiatry & Mental Health)

問題 5.

Question 5.

学校における教科としての保健授業の考え方・進め方について、現行の学習指導要領（平成29、30年告示）に基づいて説明しなさい。

Explain the concept and procedure of health classes as a subject in schools, based on the current Courses of Study (notified in 2017 and 2018).

出題：健康社会学分野 (Health Sociology)

問題 6.

Question 6.

以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

Read the following passage and answer the questions.

Figure 1 は、ある集団における血圧の分布と、血圧区分ごとの心血管疾患（CVD）の年間発症率を示したものである。

Figure 1 shows the blood pressure distribution of a population and the annual incidence rate of cardiovascular disease (CVD) by blood pressure category.

1. Figure 1 の血圧分布の特徴と、血圧区分ごとの CVD 発症率の傾向について、それぞれ簡潔に述べなさい。

Briefly describe the characteristics of the blood pressure distribution and trends in CVD incidence rate by blood pressure category shown in Figure 1.

2. この集団において、CVD 発症者数が最も多い血圧区分はどれか。理由も述べなさい。

Which blood pressure category is likely to account for the largest number of CVD cases in this population? Explain your reasoning.

3. CVD 発症を減らすために、血圧に関してどのような予防的介入が有効と考えられるか。ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの両面から述べなさい。

What preventive interventions targeting blood pressure are considered effective for reducing CVD incidence? Discuss from the perspectives of both the high-risk approach and the population approach.

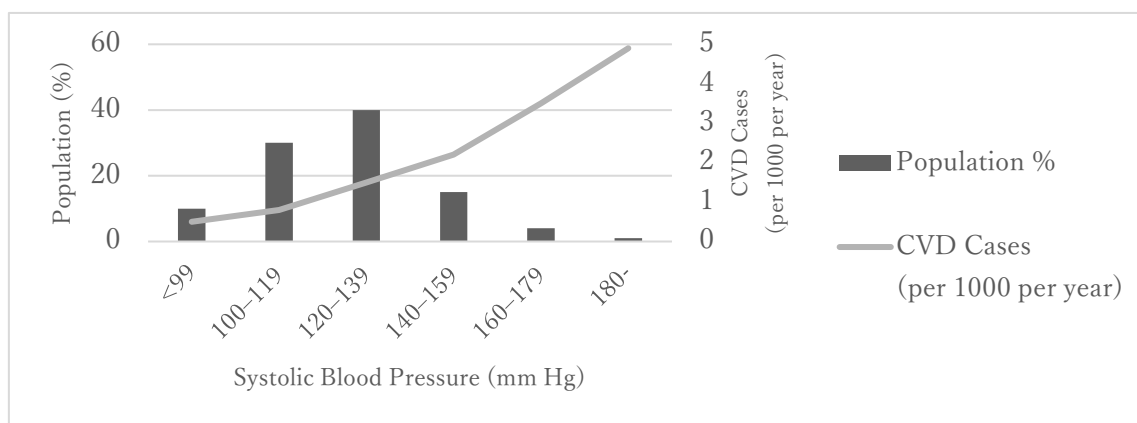


Figure 1 Blood pressure distribution and CVD cases. CVD=cardiovascular disease

出題：国際保健学分野 (Global Public Health)

問題 7.

Question 7.

以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

Read the following passage and answer the questions below.

ある自治体では、住民の身体活動量を増加させることを目的として、公園整備と健康教育の介入を行った。その効果を評価するために、自治体が保有する特定健診データ（メタボリックシンドローム指標など）と市民アンケート（身体活動量など）を用いて介入前後の比較を行ったところ、身体活動量の増加と BMI の低下が観察された。

このような介入の効果を評価する場合、単純に前後の値を比較することの問題点を挙げなさい。次に、その問題点を解決するような研究デザインまたは解析方法を 1 つ挙げ、本例における具体的な方法とその限界を説明しなさい。

A municipality implemented interventions such as improving public parks and providing health education, with the aim of increasing physical activity among its residents. To evaluate these interventions, the municipality conducted a before-and-after comparison using health check-up data (eg, metabolic syndrome indicators) and resident survey results (eg, physical activity levels). Increases in physical activity and reductions in BMI were observed.

When evaluating the effectiveness of an intervention such as the one described in the passage, describe the problems associated with simply comparing the values obtained before and after the intervention. Then, identify one study design or analytical method that could address these problems, and explain how it could be applied in this example, including its limitations.

出題：ヘルスサービスリサーチ分野 (Health Services Research)

問題 8.

Question 8.

1. 人口動態統計を説明しなさい。

Explain vital statistics.

2. 合計特殊出生率の定義と意義を説明しなさい。

Explain the definition and meaning of total fertility rate.

3. 少子高齢化の保健医療への影響を論じなさい。

Discuss the impact on health care of an aging society with a declining birthrate.

出題：保健医療政策学分野 (Health Care Policy & Management)

問題 9.

Question 9.

厚生労働省は 2024 年 1 月に「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」を策定した。これについて、以下の問いに答えなさい。

The Ministry of Health, Labour and Welfare published the *Physical Activity Guide for Health Promotion 2023* in January 2024. On the basis of this guide, answer the following questions:

1. このガイドの目的ならびに概要を説明しなさい。

Explain the purpose and overview of the *Physical Activity Guide for Health Promotion 2023*.

2. 「+10 (プラス・テン)」の考え方をを用いて、身体活動を増やすための具体的な支援策を、成人および高齢者それぞれについて説明しなさい。

Using the concept of “+10 (*Plus Ten*),” explain specific support strategies to increase physical activity for adults and for older adults, respectively.

出題：運動・栄養学分野 (Exercise Nutrition)

公開用

令和 8 年度入学試験

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群

パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

ENTRANCE EXAMINATION FOR APRIL 2026 ADMISSION

UNIVERSITY OF TSUKUBA

GRADUATE SCHOOL OF COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DEGREE PROGRAMS IN COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DOCTORAL PROGRAM IN PUBLIC HEALTH

令和 8 年 1 月

JANUARY 2026

専門英語

ENGLISH

注 この問題冊子は全部で 6 ページで、問題は 2 問 (1、2) ある。

各問題用の解答用紙を使用して解答しなさい。

Note: This booklet has six pages with two questions (1 and 2). Please answer BOTH questions on each appropriate answer sheet.

問題 1. 以下の文章を読んで問いに日本語もしくは英語で答えなさい。

Question 1. Read the following passage and answer the questions below in English or Japanese.

著作権により引用部分 (455 words) は非公開
The quoted part is not disclosed due to copyright.

(Cited with modification: Editorial. (2025). Diabetes support at work: An unmet need. *Lancet Diabetes Endocrinol*, 13(12), 987)

問 Questions

1. (a), (b)に入る語として最も適切なものを、それぞれ1つ選びなさい。

Choose the most appropriate word to fill in blanks (a) and (b) from the following:

(a)

- ① environment
- ② prevention
- ③ wellbeing
- ④ welfare

(b)

- ① especially
- ② increasingly
- ③ less
- ④ more

2. 糖尿病に関して、経営者が職場で取り組むことが望ましいことを (1) 糖尿病の従業員に対する取り組み、(2) 糖尿病ではない従業員に対する取り組みの観点で、本文に基づき簡潔に説明しなさい。

Referring to the passage, briefly explain the actions that employers should take in the workplace regarding diabetes for (1) employees with diabetes and (2) employees without diabetes.

問題 2. 以下の文章を読んで問いに日本語もしくは英語で答えなさい。

Question 2. Read the following passage and answer the questions below in English or Japanese.

著作権により引用部分 (331 words) は非公開
The quoted part is not disclosed due to copyright.

(Cited with modification: Liu, D., Wang, S., Liu, S., Wang, Q., Che, X., Wu, G. (2024). Frontiers in sarcopenia: Advancements in diagnostics, molecular mechanisms, and therapeutic strategies. *Mol Aspects Med*, 97:101270)

問 Questions

1. サルコペニアは現在どのように定義されているか、本文を参考に簡潔に説明しなさい。

Referring to the passage, briefly explain how sarcopenia is currently defined.

2. 若年層でサルコペニアが生じる状況について、本文中ではなんと言及されているか、3つ述べなさい。

According to the passage, what are three circumstances in which sarcopenia can occur in younger populations?

3. サルコペニアの危険因子について、修正可能なものと修正不可能なものに分けて、本文を参考に説明しなさい。

Referring to the passage, explain the risk factors for sarcopenia by categorizing them into modifiable and non-modifiable factors.

4. 筆者らが、サルコペニアに関する科学的な知見について現状では不足していると考えているものは何か、本文を参考に説明しなさい。

Referring to the passage, explain what the authors consider is currently lacking in scientific knowledge of sarcopenia.

公開用

令和 8 年度入学試験

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群

パブリックヘルス学位プログラム (3 年制博士課程)

ENTRANCE EXAMINATION FOR APRIL 2026 ADMISSION

UNIVERSITY OF TSUKUBA

GRADUATE SCHOOL OF COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DEGREE PROGRAMS IN COMPREHENSIVE HUMAN SCIENCES

DOCTORAL PROGRAM IN PUBLIC HEALTH

令和 8 年 1 月

JANUARY 2026

専門科目

SPECIALIZED SUBJECTS

注 この問題冊子は全部で 10 ページで、問題は 9 問 (1～9) ある。
そのうち **2 問を選び**、各問題用の解答用紙を使用して解答し
なさい。

Note: This booklet has ten pages with nine questions (1 to 9). Of the nine, **SELECT TWO QUESTIONS** and answer on each appropriate answer sheet in Japanese or English.

問題 1.

Question 1.

障害のある人や性的マイノリティを含む「マイノリティ」とされる人々に対して、「マジョリティ」とされる人々はどのような人々であり、どのような特徴を有するか、学術的な観点を踏まえ、具体的な例を示しながら説明しなさい。

From an academic perspective, explain the definition and characteristics of the "majority," in contrast to those characterized as "minorities" (such as individuals with disabilities as well as sexual and gender minorities). In your answer, cite specific examples.

出題：共生教育学分野 (Education for Human Coexistence)

問題 2.

Question 2.

1. 発達の変化を研究するための方法のうち、代表的なものを1つ選び、①その方法の概要、②利点、③限界を説明しなさい。

Choose one representative method used to study developmental change and give (1) an overview of the method and explain (2) its advantages, and (3) its limitations.

2. 臨床心理学・発達臨床心理学において解明すべき研究課題を取り上げ、1. で挙げた研究方法を用いて、発達の視点を踏まえた研究計画を1つ具体的に立案しなさい。その際、目的、方法、想定される結果を必ず記述すること。

Using the research methods identified in Question 1, develop a concrete research plan from a developmental perspective to investigate a research topic that should be clarified in clinical psychology or developmental clinical psychology. The research plan must clearly state the purpose, methods, and expected results.

出題：発達臨床心理学分野 (Developmental Clinical Psychology)

問題 3.

Question 3.

1. わが国の認知症施策の変遷に関する以下の説明について、下の四角に囲まれた用語の中から () 内に当てはまる用語を選んで記載しなさい。

Regarding the following explanation about the changes in dementia policies in Japan, select the correct term for each of blanks (1) to (3) from the terms enclosed in the box below and write the terms in the Answer Sheet.

わが国の認知症施策は、1980年代に開始し、2004年に京都で開催された国際会議において、認知症当事者の語りを契機として、その後の認知症政策やケアの質は変化した。2015年には (1) が公表され7つの柱が提示された。

2019年には、(2) が策定され、基本方針として、認知症のある人が同じ社会でともに生きることを意味する共生と、認知症の発症や、発症後の進行を遅らせる意味の予防が両軸とされた。2023年には (3) が成立し、2024年に施行された。

Japan's dementia policies began in the 1980's. As the result of the international conference held in Kyoto in 2004, triggered by the narratives of people with dementia, subsequent dementia policies and the quality of care changed. In 2015, the (1) was published and 7 pillars were presented.

In 2019, the (2) was formulated, with two basic pillars set as fundamental policies: ensuring that people with dementia live together in the same society, and preventing the onset of dementia while delaying its progression after onset. In 2023, the (3) was enacted in 2023 and enforced in 2024.

認知症施策推進5か年計画 Five-Year Plan for the Promotion of Dementia Measures 認知症施策推進総合戦略 Comprehensive Strategy to Accelerate Dementia Measures 介護保険法 Long-term Care Insurance Act 認知症施策推進大綱 Basic Plan for the Promotion of Policies on Dementia 認知症基本法 Basic Act on Dementia to Promote an Inclusive Society
--

出典：系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 2025年より改編

Modified from Department of System Nursing, Specialized Field of Gerontological Nursing, Igaku-Shoin 2025

2. 認知症のある人を対象に、認知症のある人の生活改善に関する研究を計画する際、目的や方法において注意を要する点について説明しなさい。

Explain the points that require attention in the objectives and methods when planning research related to improving the lives of people with dementia.

出題：高齢者ケアリング学分野 (Gerontological Nursing & Caring)

問題 4.

Question 4.

以下の問いに答えなさい。

Answer the following questions.

1. 依存症は依存物質使用や嗜癖行動を自らコントロールすることができない問題である。依存症において、なぜ物質使用をやめたくてもやめられないのか、複数の視点から説明しなさい。なお、解答文中には「精神依存」「身体依存」「自己治療仮説」という言葉を必ず含めること。

Addiction is a problem characterized by an inability to control substance use or addictive behaviors. Explain from multiple perspectives why individuals with addiction cannot stop substance use even when they want to. Be sure to include the terms "psychological dependence," "physical dependence," and "self-medication hypothesis" in your answer.

2. 医療機関に通院する依存症患者を対象にして、依存物質再使用の抑制を目的とする認知行動療法の効果を実証的に検討したい。そのための研究計画をひとつ立案しなさい。計画を立てるときは、何をアウトカムとするか明記すること。

Develop and describe a research plan to empirically evaluate the effectiveness of cognitive behavioral therapy aimed at suppressing relapse to substance use among addiction patients attending medical institutions. When developing the plan, clearly specify what the outcome measures will be.

出題：社会精神保健学分野 (Social Psychiatry & Mental Health)

問題 5.

Question 5.

1. ワーク・エンゲイジメントとはどのような概念かを、その 3 つの構成要素の内容に触れながら説明しなさい。また、ワーカホリックとの違いを述べなさい。

Explain the concept of work engagement by referring to its three components. In addition, describe how work engagement differs from workaholism.

2. 仕事の要求度—資源モデルの理論的枠組みを説明したうえで、このモデルに基づきワーク・エンゲイジメントを高めるための職場施策を 2 つ提案して説明しなさい。

Explain the theoretical framework of the Job Demands–Resources model. In addition, on the basis of this model, propose two workplace strategies to enhance work engagement, and describe them.

出題：健康社会学分野 (Health Sociology)

問題 6.

Question 6.

ソーシャルネットワークサービス (SNS) などのデジタル環境では、誤情報 (misinformation) が健康行動や公衆衛生上の判断に影響を及ぼすことがある。

In digital environments such as social media, misinformation can influence health behaviors and decisions related to public health.

1. 公衆衛生領域で誤情報が拡散された実例を一つ挙げ、その影響を説明しなさい。
Give one specific example in real-world settings of misinformation that has spread in the field of public health and explain its impact.
2. 誤情報に強い社会を形成するために、公衆衛生学の専門家が果たすべき役割を論じなさい。
Discuss the role that public health professionals should play in building a society that is resilient to misinformation.

出題：国際保健学分野 (Global Public Health)

問題 7.

Question 7.

次の文章を読み、問いに答えなさい。

Read the following sentences and answer the questions.

高齢化が進むわが国では、在宅医療の重要性が高まっている。そこで、一時点のオープンデータを用いて、地域単位で、65歳以上の高齢者の訪問診療の利用割合と、その地域の65歳以上人口当たりの医療・介護施設数との関連を分析した。多変量解析の結果、訪問診療を提供する医療機関が多い地域では訪問診療利用割合が高いことが示された。一方、介護施設が多い地域では訪問診療利用割合が低い傾向がみられた。

In Japan, where population aging is progressing, the importance of home medical care has been increasing. Using publicly available open data from a single time point, an analysis was conducted at the regional level to examine the association between the proportion of people aged 65 years and over receiving home medical care visits and the number of medical and long-term care facilities per 65+ population in each region. Multivariable analysis results showed that regions with a higher number of medical institutions providing home visit services had a higher utilization proportion of home medical care. Conversely, regions with more long-term care facilities tended to have a lower utilization proportion.

1. この研究における曝露と結果は何であり、それぞれ Donabedian の 3 要素のどれに当てはまるか、理由とともに答えなさい。

What are the exposure and the outcome in this study, and which of the Donabedian elements do they correspond to? Explain the reasons.

2. この研究で調整することが望ましい交絡因子を 1 つ挙げ、その理由を説明しなさい。

Describe one confounding factor that should be adjusted for in this study and explain the reason.

3. この研究はどのような研究デザインか。また、このデザインで結果を解釈する際に注意すべき点を述べなさい。

What is the research design and what points should be considered when interpreting the results of this study?

出題：ヘルスサービスリサーチ分野 (Health Services Research)

問題 8.

Question 8.

1. 日本あるいは海外で、健康課税の対象となっている財をふたつ挙げなさい。
List two goods that are the target of health tax in Japan or overseas.
2. 健康課税の目的と仕組みを説明しなさい。
Explain the purpose and mechanism of health taxation.
3. 健康課税の効果について弾力性の観点から論じなさい。
Discuss the effects of health taxation in terms of elasticity.

出題：保健医療政策学分野 (Health Care Policy & Management)

問題 9.

Question 9.

1. 高齢者のフレイルの「身体的」「精神・心理的」「社会的」の3つの側面について、それぞれどのような問題が生じるかを説明しなさい。

Describe the three aspects of frailty in older adults—physical, mental/psychological, and social—and explain the kinds of problems that may arise in each aspect.

2. 上記3つの側面のすべてのフレイルを予防・改善することを目的とした健康増進プログラムを提案し、そのプログラム内容にした理由とともに説明しなさい。

Design a health promotion program that aims to prevent and improve frailty in all three of the aspects described above—physical, mental/psychological, and social. Describe your program in detail and explain the rationale for the program contents.

出題：運動・栄養学分野 (Exercise Nutrition)